

野村DC運用戦略ファンド(愛称:ネクスト10)

運用会社:野村アセットマネジメント

ファンドの主な特色

- 信託財産の成長を目標に運用を行うことを基本とします。
- 国内および外国(新興国を含む)の株式、国内および外国(新興国を含む)の公社債、国内および外国の不動産投資信託証券(REIT)を実質的な主要投資対象*とし、為替予約取引等を主要取引対象とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、下記マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

＜投資方針＞

- 運用にあたっては、世界の様々な指標の動きを計量的なアプローチを用いて分析し、リスク水準*を一定範囲内程度に抑えつつ効率的に収益を獲得することを目指して、各マザーファンドへの投資比率および為替予約取引等のポジションを決定します。

※リスク水準とは、推定されるポートフォリオの変動の大きさのことです。基準価額の目標変動リスク値を当面年率5%程度以下となることを目指して、リスク水準の異なる資産の配分比率や実質的な外貨のエクスポージャーを変更します。

※マザーファンドを通じて実質的に投資を行う比率等は、原則として、以下の範囲内となります。

実質的な内外の株式およびREITへの投資比率	実質的な外貨のエクスポージャー
純資産総額の50%以内	純資産総額の50%以内

- ・各マザーファンドへの投資比率および為替予約取引等のポジションは適宜見直しを行います。
 - ・一部のマザーファンドへの投資比率がゼロとなる場合があります。
 - 各マザーファンド(「野村マネー マザーファンド」を除く)は、各々以下の指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
- 「野村マネー マザーファンド」は、円建ての短期有価証券等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。

マザーファンド	主要投資対象	対象指数
国内株式マザーファンド	わが国の株式	TOPIX(東証株価指数)
国内債券マザーファンド	わが国の公社債	NOMURA-BPI国債指数
外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド	外国の株式	MSCI-KOKUSAI指数(円ベース・為替ヘッジなし)* ¹
外国債券マザーファンド	外国の公社債	シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国株式マザーファンド	新興国の株式(DR(預託証書)* ¹ を含みます)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円換算ベース)* ²
新興国債券マザーファンド	新興国の公社債	JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス(円換算ベース)* ³
新興国債券(現地通貨建て)マザーファンド	現地通貨建ての新興国の公社債	JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円換算ベース)* ⁴
J-REITインデックス マザーファンド	J-REIT* ²	東証REIT指数(配当込み)
海外REITインデックスマザーファンド	日本を除く世界各国のREIT* ³	S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)* ⁵

*1 Depositary Receipt(預託証書)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。

*2 わが国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている不動産投資信託証券(一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます)とします。

*3 世界の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます)されている不動産投資信託証券(一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます)とします。なお、国によっては、「不動産投資信託証券」について、「REIT」という表記を用いていない場合がありますが、当ファンドにおいては、こうした場合も含め、全て「REIT」といいます。

*1 MSCI-KOKUSAI 指数をもとに、委託会社が円換算したものです。

*2 MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み・ドルベース)をもとに、委託会社が円換算したものです。

*3 JP Morgan Emerging Market Bond Index (EMBI) Plus (USDドルベース)をもとに、委託会社が円換算したものです。

*4 JP Morgan Government Bond Index-Emerging Markets (GBI-EM) Global Diversified (USDドルベース)をもとに、委託会社が円換算したものです。

*5 S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、ドルベース)をもとに、委託会社が円換算したものです。

※各マザーファンド(「野村マネー マザーファンド」を除く)が対象とする指数の詳細は「ベンチマークの説明」を参照してください。

- 為替予約取引等の利用については、外貨建て資産の為替変動リスクを回避する目的(ヘッジ目的。代替ヘッジを含みます)のほか、効率的に収益を獲得する目的(ヘッジ目的外)で活用します。

ファンドの概要

- 信託設定日 …………… 2012年2月28日
- 買付価額 …………… 取得申込日の翌営業日の基準価額
- 買付単位 …………… 1円以上1円単位
- 信託期間 …………… 原則無期限
- 販売手数料 …………… ありません。
- 信託報酬 …………… 純資産総額に対して年率0.864% (税抜年率0.80%)
この他、ファンドの監査費用、ファンドの借入金利息、ファンドの組入れ有価証券の売買の際に発生する
売買委託手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。
- 信託財産留保額 …… ありません。
- 決算および収益分配… 年1回の決算時(原則2月17日、同日が休業日の場合は翌営業日)に収益分配方針に基づき
分配します。なお収益分配金は直接支払われず自動的に再投資されます。
- 解約価額 …………… 解約申込日の翌営業日の基準価額
- 受託会社 …………… 野村信託銀行
- 販売会社 …………… 野村證券

主なリスクおよび留意点

- 当ファンドは、投資信託の投資等を通して、株式や公社債等の値動きのある証券等に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本や利回りが保証されている商品ではありません。また預金や保険契約等と異なり、預金保険制度や保険契約者保護機構等の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失は、すべて当ファンドの受益者に帰属します。
- リスク
 - 株価変動リスク …………… 当ファンドは実質的に株式に投資を行いますので、株価変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の株価変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。
 - REITの価格変動リスク… REITは、保有不動産の状況、市場金利の変動、不動産市況や株式市場の動向等により、価格が変動します。当ファンドは実質的にREITに投資を行いますので、これらの影響を受けます。
 - 債券価格変動リスク… 債券(公社債等)は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは実質的に債券に投資を行いますので、これらの影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の債券価格の変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。
 - 為替変動リスク …………… 当ファンドは、為替変動リスクの低減を図る目的(ヘッジ目的)のほか、効率的に収益を追求する目的(ヘッジ目的外)で為替予約取引等を活用しますので、為替変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いこと等から、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

<その他の留意点>

- 当ファンドの取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

持ち分の計算方法

加入者毎の当ファンドにおける個人の持ち分(個人別管理資産額)は1口あたりに換算した基準価額に保有口を乗じた額になります。(コールセンターやインターネットサービスで確認できます)